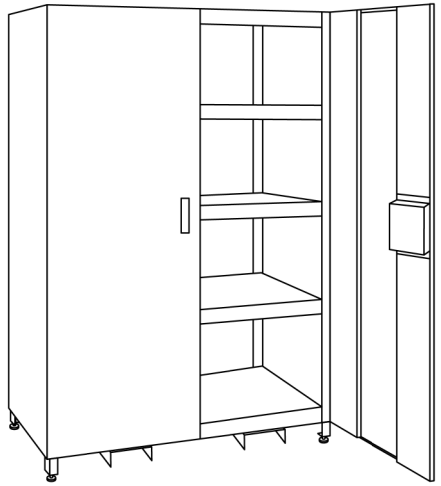
スーパージャンボ保管庫
[SKS]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



サカエ
大阪市城東区成育５丁目22―９
お客様相談室 フリーダイヤル 0120―575101

No.654 07A-A

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、
次の事項を必ず守って下さい。

⚠安全上のご注意

1．製品等分布耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、
　　棚板　　**150kg／段**
　　引出し　**70kg／段**
　　全体　　**1000kg**
積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
2．製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
3．使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じた場合は、締め直して下さい。ゆるんだままで使用していますと、変形や破損及び転倒などの原因となります。
4．製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
5．引出しはゆっくりと引いて下さい。強く引きますとストッパー破損の原因となり抜け落ちる恐れがあります。
6．引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重たい物を置いたり、踏み台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
7．収納物が、棚板よりはみ出した状態でのご使用にならないで下さい。落下等の事故の原因となります。
8．転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。また引出しは同時に２つ以上引き出さないで下さい。間違って同時に２つ以上の引出しを引出した場合は必ず戻して下さい。
9．可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
10．製品の設置は必ずアジャスターで調整し、水平を保って下さい。水平が保たれていないと、扉が閉まらなかったり、鍵が施錠できない恐れがあります。また、前倒れの状態で設置しますと、扉が開いたり、引出しが飛び出るなどの転倒や破損等事故の原因となります。
11．移設やレイアウト変更等は安全のため、最寄りの購入店へご相談下さい。お客様で作業される場合は、収納してある物を全て出し、複数の人間で本体をゆっくり移動して下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
12．本製品には、安全性を高めるため、床固定金具等をオプションにて用意しております。購入店へご相談下さい。
13．この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を充分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1．この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
2．直射日光の当るところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3．製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4．製品を水に濡れたままにしておきますとサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5．鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
6．鍵を掛けるときは、引出し付は全ての引出しを、扉付は扉を確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。
7．ご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。
8．鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。（有料となります）。
9．消耗部品には寿命があります。可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
10．アジャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
11．特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
12．製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の１～３の手順を守って汚れを落として下さい。
　１．薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
　２．水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
　３．乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。
※汚れが落ちない場合は、１～３の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。